

開催にあたって

コロナ禍のこの約3年間のあいだに、博物館の活動自体も、大学と相談しながら手探りの状態でできることを試みてきました。そのなかで、この特別講座（古典絵画）は、大学においては、実習・実験の授業の一環として認められ、2021年度、2022年度は対面形式で開講することができました。指導講師、および受講生の皆様には、教室内でのマスク着用や換気等の感染症対策へご協力いただき、おかげさまで、これまでに関係者には感染発症の事例は報告されていません。本講座がさまざまな状況のなかで継続していくことができたことを大変嬉しく思っております。ひとえに、指導講師および受講生の皆様、そして学内関係各所の理解とご支援をいただいたことによるものと思い、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

一方、しばらくの間、本学では学園関係者限定での入館対策をとってまいりましたので、2022年3月から9月に開催した、昨年度（2021年度）受講生作品展は、大学構内への一般の入場制限を一部継続していることから、本展示への入館者数は、一般公開日を会期中の限定日だけにとどめたことで、例年に比べ大幅に減少する結果となりました。しかし、その間、館では本講座関係者他、地域の皆様にご関心を寄せていただいていた経緯から、常設展示室の一画に、大和絵の模写作品を展示するスペースを設け、天然顔料や染料を始めとする素材研究資料の一部として紹介を始め、再開のときのための準備を進めました。今春、徐々に落ち着きを取り戻しつつある様子から、多くの皆様にご覧いただく機会が増えることを期待しております。

また、心機一転し、より多くの皆様との交流の場として、大学博物館の役割を一步ずつ果たしていけるよう、歩みを進めてまいりたいと思います。ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

2023年3月吉日

中部大学民族資料博物館